

講義内容一覧

2012年度夏学期 広域科学科・広域システム科学系

担当教員	科目番号・科目名	講義内容	曜限 教室
金子 知適	学部 08610745 外国語論文講読Ⅱ	＜授業の目標・概要＞ 情報分野の教科書を輪読して、内容を学ぶとともに、科学的な文章を読む力をつける。	
	修士 31M282-0090S 基礎システム学輪講Ⅰ	＜授業計画＞ 初回に割り当てを行い、2回目以降は担当者が発表する形式で進める。	
	博士 31D282-0090S 基礎システム学輪講Ⅰ	＜教科書＞＜参考書＞ Foundations of Algorithmsを予定している。 ＜履修上の注意＞ 毎週、事前に内容を読むための予習の時間を確保しておくこと。	
山口 和紀	学部 08610742 外国語論文講読Ⅱ	＜授業の目標・概要＞ 英語の文献を読みこなす能力を身につけるとともに、文献の内容も理解する。	
	修士 31M282-0110S 基礎システム学輪講Ⅲ	＜授業計画＞ 今回は、IEEEのjournalを読む予定である。 http://ieeexplore.ieee.org/xpl/periodicals.jsp どのjournalを読むかは相談して決める。	
	博士 31D282-0110S 基礎システム学輪講Ⅲ	1つのjournalを2～3人のグループで読むことを考えている。 初回に割り当てを行い、2回目以降は輪講形式で進める。 ＜教科書＞＜参考書＞ なし ＜履修上の注意＞ 発表するグループ以外も読んでくることが原則である。準備の時間を確保しておくこと。 ＜関連ホームページ＞ http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~yamaguch/	
柴山 悦哉	学部 — —	＜授業の目標・概要＞ ソフトウェアの検証などを行うために必要な論理的な推論を、コンピュータを使って機械的に行うケースが増えている。この輪講では、その基礎となる論理学とアルゴリズムに関する知識を身につけることを目的とする。	
	修士 31M282-0130S 基礎システム学輪講Ⅴ	＜授業の方法＞	
	博士 31D282-0130S 基礎システム学輪講Ⅴ	D. Kroening, O. Strichman: Decision Procedures – An Algorithmic Point of View, Springer, 2008. の一部の章の輪講を行なう予定である。	
金井 崇	学部 08610744 外国語論文講読Ⅱ	＜授業の目標・概要＞ 外国語の書籍および外国語の研究論文を材料にして輪講を行う。	
	修士 31M282-0310S 情報システム学輪講Ⅲ	＜授業計画＞ 輪講開催の有無や内容に関しては、別途掲示する。	
	博士 31D282-0310S 情報システム学輪講Ⅲ	＜教科書＞＜参考書＞ 開講時に指示する。 ＜関連ホームページ＞ http://graphics.c.u-tokyo.ac.jp/	
増原 英彦	学部 08610746 外国語論文講読Ⅱ	＜授業の目標・概要＞ Felleisenら著の「How to Design Classes」を教科書として(1)プログラミングの基本的な方法のうち、特にオブジェクト指向プログラミングに焦点を当てたものを学ぶ、(2)科学技術分野の英文を読む能力を高める。	
	修士 31M282-0330S 情報システム学輪講Ⅴ	＜授業の方法＞ 参加者はそれぞれ教科書を読み、演習問題を解きながらその内容を理解する。輪講では章・節ごとに担当者を決め、担当者が司会する形で演習問題の解答を検討することで理解を確認する。	
	博士 31D282-0330S 情報システム学輪講Ⅴ	＜教科書＞ “How to Design Classes: Data Structure and Organization”, Matthias Felleisen, Matthew Flatt, Robert Bruce Findler, Kathryn E. Gray, Shriram Krishnamurthi, and Viera K. Proulx http://www.ccs.neu.edu/home/matthias/htdc.html ＜履修上の注意＞ 半年程度のプログラミングに関する授業等を履修しているか、それと同程度のプログラミング能力があることが望ましい。2012年度夏学期は、本書の後半を読むため、今年度から参加する場合は、Javaプログラミングに関する基本的な知識(クラス、メソッド、継承、インタフェース)などが必要になる。	
山口 泰	学部 08610743 外国語論文講読Ⅱ	＜授業の目標・概要＞ 人間の視覚情報処理や計算機による画像・形状処理に関する英文の教科書ないし参考書を輪読する。	
	修士 31M282-0740S 複合系計画学輪講Ⅰ	＜授業の方法＞ 授業参加者から担当者を決めて教科書ないし参考書を輪読する。 講読対象の文献については、初回に参加者の意見を聞きながら決定する。	
	博士 31D282-0740S 複合系計画学輪講Ⅰ	たとえば、以下の書籍などを考えている。 ＜教科書＞ Marc Ebner: Color Constancy, John Wiley & Sons Inc, 2007 (ISBN 9780470058299) John P Frisby, James V Stone: Seeing 2nd ed., MIT Press, 2010 (ISBN 9780262514279)	
開 一夫	学部 08610741 外国語論文講読Ⅱ	＜授業の目標・概要＞ Developmental Science, Cognition, Nature, Scienceなどに掲載された認知科学に関連する論文(特に発達科学に関連する論文)を読み、それに基づいて議論を行う。	
	修士 31M282-0760S 複合系計画学輪講Ⅲ	＜授業計画＞ 論文の割り当てを初回に行う。	
	博士 31D282-0760S 複合系計画学輪講Ⅲ	＜授業の方法＞ 1名から2名が発表を行う。 ＜履修上の注意＞ 全回出席することが望まれる。認知科学の基礎的知識について習得済みであること。	

※開講曜限・教室が未定の科目については掲示または(申込締切後)担当教員よりメールで連絡します。

2012.4.5